

社会福祉法人佑啓会保護者見学説明会（概要）

日 時：平成 27 年 11 月 28 日（土） 10：30～12：30

場 所：社会福祉法人佑啓会

1. あいさつ

＜佑啓会 理事長＞

放課後等デイをご利用されている皆さんの中で、私どもの法人の放課後等デイを利用されている方が半分程いらっしゃると思っています。

うちの法人は、社会福祉法人の認可が平成 4 年。平成 5 年に入所施設をオープンしまして、現在 23 年目に入っています。当初は、措置の時代で養護学校卒業生の行き場がなくて親御さんが困っていました。しかも、入所施設か通所施設かの選択肢しかなく、しかも入所施設が不足しているという状況でした。その当時私は、事業団にお世話になっていたものですから、今日来ているアドバンス施設長や代宿所長とは一緒に仕事をしていた仲間で、事業団では成人と児童の支援に携わりました。その後、入所施設の要望が強かったので、事業団を退職して平成 5 年にやっと施設をオープンしました。現在でもそうですが、施設をつくるというのは、反対運動が大変です。私の実家から車で 5 分くらいの地元に、住民を説得してようやく開所しました。最初は、小さな施設だけでしたが、300 名ほどの応募があり、市役所と協議して親御さんのいらっしゃる方たちを優先して受け入れました。その後、入所できなかった方たちが、通所施設だけでもつくってくれないかと要望があり、次の年に 22 名の通所施設をオープンしまして、徐々に土地も買い足し、補助金をいただきながら、ニーズに応じていったらこんなに大きくなってしまいました。

この場所では、パンの製造をしています。無添加の天然酵母です。どうぞ、お試しください。もう少し前ですと、この山一面がミカンで色づいていました。開設当初は、荒れ山だったものを職員と利用者、ご家族にもご協力いただきながら、少しずつ開墾し、果樹園に替えていきました。奥にはプラム、ブルーベリーを植えています。皇太子が来所したときには、ブルーベリーの季節でした。

最近では、鶴舞荘という身体障害者療護施設を県から引き継いで、当法人でここに建物を建て、現在そこに入所していた方たち全員が生活されています。

この間、20 周年記念事業を行ってきまして、もう終わったのですが、今年の 4 月に記念事業の最後として福祉避難所でもある体育館を建てました。この体育館を地域に開放して、地元の卓球クラブや子どもたちの新体操教室などに利用していただいたり、放課後等デイの子どもさんたちの運動会をやったりしています。

今日は、居住寮を 2 箇所見学していただく予定です。なぜ身体障害者施設かといいますと、知的障害者の方たちが高齢化していきますと老化が著しく、あっという間に車椅子や寝たきりになったりすることが多くみられます。そういう方たちと自閉症の元気な方たちが一緒に生活していますと、怪我をするリスクが高まりますので、そうした高齢化した方たちに静風荘を利用してもらっています。ですから、和田浦もこちらの市原も車椅子の方たちは移ってきているという状況です。また、グ

グループホームも定員が現在 90 名くらいになっていると思いますが、この近隣に展開しています。グループホームの生活を希望する方たちは、そちらに移っています。

特徴的には、就労支援センターをもっていまして、積極的に就職をすすめています。この方たちの拠点は、本千葉と鎌取にグループホームがありまして、そこから通勤しています。

20 周年の記念事業の一つに DVD を 2 本作成しました。1 本はプロの方をお願いしましたが、少し暗い雰囲気になってしまいました。一方、職員が作成したものは、うちの法人の雰囲気が良く出ている仕上がりになっていますので、本日は、それを見ていただき、感じ取っていただきたいと思います。

当法人の理念は、「本人も家族も職員もみんな楽しく」。という簡単な理念です。また、「本人を真ん中にして議論していこう」ということ。この 2 本立てでこれまでやってきました。

2. 20 周年記念 DVD 鑑賞

< 佑啓会 理事長 >

いま見ていただいた DVD 完成後、今年の 4 月から八千代市の福祉作業所 3 箇所の運営を開始しておりまして、そちらは職員もそのまま残ってくれています。また、市川市で「そよ風キッズ」という発達支援センターの運営を始めました。今後も、事業団が規模縮小になりますので、その分の定員ということで千倉に児童の入所施設 20 名を開始予定です。ですから、千倉とアドバンス両方の準備で職員もたいへんなのですが。実は、千葉市から通所している方たちが多くて、受けきれなくなっていますので、千葉市の昭和の森のほうに 1500 m²の建物がすでにあり、工事も終わって、運営できる状態になっているのですが、アドバンスの運営もあるので、そちらはいつオープンできるか判らない状況です。

いま法人の一番の命題は、アドバンスをどうやってスムーズに引き受けた後、運営するかということにかけているところです。

3. 施設見学

○障害者支援施設ふる里学舎市原

○障害者支援施設ふる里学舎静風荘

4. 質疑応答

< 佑啓会 理事長 >

先日の説明会やアンケートで、家族会に対する質問が多かったので、本日は家族会の会長さんに来ていただいておりますので、ご紹介します。

< 佑啓会 家族会長 >

今年の家族会総会資料を配付させていただきました。こちらをご覧くださいと活動の実態がおわかりいただけると思います。私どもの家族会は、ここのふる里学舎市原が本部になります。12 年前に和田浦にも施設ができましたので、両方が一緒になり、家族会として活動しています。距離はずいぶん遠いのですが、ひとつの単

位として協力し合っています。その後、東京・市川・八千代と関連するところできまして、法人とすればあちこちということになりますが、家族会は、それぞれの事業所で持っています。本体ではこんなことをやっていますよという説明にまいますし、行事にも参加していただきます。ただ、強制的にこちらに加入してよというのではありません。数は少ないのですが、東京の方でこちらの活動を手伝いたいと申し出があった場合、行事の時などずいぶん来ていただいています。そういう時は、親同士の交流となります。つい最近では、八千代の方たちも一緒に研修旅行に参加していただき、すぐ仲良くなって楽しい交流ができました。今度は、皆さんがふる里学舎の仲間入りをしていただけるということで、先々のことは判りませんが、宜しく願いしたいと思います。

千葉県の流れで、50箇所ばかりの旧入所施設の親の会が連合会をつくっていて、3200名くらいの組織になっています。手をつなぐ育成会は通所を主として組織しているものですから、我々入所施設利用者の親たちは、入所施設を守らなければならないと拘ってつくった会が連合会です。一施設の親の会ですと言いたいことも言えなかったり、見方が狭くなってしまうことがあります。確かにふる里学舎は明るくて良いのですが、自分の所だけが良い、それが当たり前になってしまうということがあります。

親同士が知り合いますと施設側からは困ることもあると思います。ですが、やはり、他の所のことも知ったほうがよいと思います。ふる里学舎はこれだけ良いところですが、他の所でも羨ましいと思う所はあります。たとえば、親が来所したときに名札をつける施設があります。職員も親の名前を知らない。親も職員の名前を知らない。という状況になっていませんか。人と人が名前呼び合うことで信頼関係が生まれます。私の子どもが人を傷つけたりして謝りに行くこともありました。そうしたとき、親同士仲が良いとわかり合えます。私は、会長をさせていただいておりますが、事を構える会ではありません。施設とも仲良いし、会員同士も仲良い、というのがいいですね。

私は退職後、障害者に縁あって、現在も親の会の活動をしていますので、今日もこれから連合会の仲間と会うことができます。その辺が良いなあと悟っていて、良い人生を送っていると思っています。

こんな家族会活動をしています。今日配布した家族会資料も、当初は施設側で作成していただいておりますが、12～3年前から、親だけでできるように成長しました。家族会についての説明はこれくらいにして。

アドバンスながうらは、まだ、連合会に加入していません。もしできたら、県の会ですので加入していただくと有り難い。但し、年間600円の会費が必要になります。

<保護者>

今日は、ほとんど初めての方が多かったようです。私もはじめてでしたが、見学を終えて、設備の良さにびっくりしました。アドバンスに比べれば、施設的には数段上といって良いと思います。家族会からのお話も伺いましたが、周辺を見回すと果樹はある。ブルーベリーはある。椎茸はある。緑地関係がものすごく整備されて

いますね。家族会の資料でも環境整備への協力が載っていますが、利用者も環境整備をしているのでしょうか？

< 佐啓会 家族会長 >

月に1回、草刈りをしています。そのほかに、室内は母親たちが掃除等環境整備をしています。これまで、ずいぶん開墾のお手伝いをしました。もちろん職員もやるのですが。組織的に草刈り機を使用する場合、労働安全衛生法上、講習を受ける必要があります。たまたま私はトレーナーをしていますので、アドバンスに教育に行かせてください。事故が起きた場合、事業主責任になります。ふる里学舎では定期的に教育しています。

< 佐啓会 理事長 >

一言付け加えます。そういうことを親にやらせているということではありません。23年前は、60名入所してきて、親御さんたちも若くて元気でした。私どもの苦労を親御さんたちは理解していたので、何かやれることはないのかということから始まって、それでは草刈りをお願いできますかと。当時は親御さんたちもパワーがあって、1回来ていただくと見違えるほどきれいになりました。最近はその後に続く家族の方がほとんどいないので、だいぶ衰えてきています。なんできれいになっているのかと言いますと、新卒の職員がまず教えられるのが草刈りとチェーンソーです。6月くらいから、ほぼ毎日草刈りです。その足りない部分を家族会にお世話になっているという構図です。最近、通所の方たちが多くなったので、通所のご家族はなかなか参加していただけません。

ただ、家族会の皆さんに、我々職員は支えられていまして、施設というのは色々なことがありますので、親御さんとも意見の食い違いができた場合などは、家族会の方にも入っていただいて解決しています。これまでもめたことはありません。家族の皆さんとは楽しくやっています。家族と職員だけの一泊旅行や利用者、家族、職員一緒に旅行などもあります。

いろいろ助けられているというのが、感想です。

今後のスケジュールなのですが、引き続き利用する場合、4月からは、私と契約することになります。ですから、3月末までに面談して、相談支援専門員の意見を参考にしながら契約していくことになります。そうした一連の手続きがありますので、その際はご協力いただきたいと思います。

< 保護者 >

施設環境の良さで子ども達の情緒、心のケアが左右されます。整備されているというのが条件になります。汚い部屋で暮らしていたら、心も荒んでくると思います。アドバンスと比較して、こちらの方がかなり施設的には力を入れているなという感じがします。4月以降、譲渡後に、今のアドバンスの状況を佐啓会さんはどう見られているのかをお聞きしたい。たいへん心残りです。譲渡後すぐに新しい施設にするというのは望んでいませんが、ある程度の改築なり、住み心地の良さの改善というのは考えているのでしょうか？

<佑啓会 理事長>

私は事業団にいたのでよく分かるのですが、アドバンスさんは自主事業と言いながら予算的にはすごく縛りがあると思います。予算の使い勝手が悪いのです。だから先延ばしになってしまうということがあるのだと思います。我々は民間なので、私の決裁でどんどんやれます。

当面、解決しなければならないこと大きなことは、エアコンがもうだめだということで、そこからまず取りかからないといけないと考えています。

もう一つは、定員 80 名にしなければいけないのですが、そのためには、居住棟を転用している放課後等デイサービスを移転しなければいけないということです。4 月には、居住棟として使用できるようにするため、2 月に作業棟を整備して移転する計画でいます。その空いたところから改修工事に入って、きれいにしたところに移していくという計画を持っています。それなりの予算を我々もたてています。きれいにしたいという思いは親御さんと同じです。

最初に見ていただいた施設(ふる里学舎市原)は、アドバンスと 2 年しか違いません。どうしてあんなにきれいに保っているかということ、毎年ものすごい予算を修繕費として投入しているからです。職員が気持ちよく働くためには、環境というのは大事だと思っていますので。特に私はうるさいのです。臭いやクリーンさ。あと食事にはうるさいのです。こうした基本的なことは一所懸命頑張りたいと思っています。皆さんにはご迷惑をおかけしませんので、長い目で見ていただきたいと思います。因みにエアコン交換するだけで 1 億円かかるということです。たいへんなのです。

<保護者>

エアコン交換の費用などは、どこから出るのですか？

<佑啓会 理事長>

千葉県が出してくれませんので、うちの法人(佑啓会)が出します。今年の冬は何とか乗り切ってもらうように、アドバンスさんをお願いしています。故障が多いので、職員さんは、苦勞して使っているのですよ。20 年経っていますので。しかも、普通のエアコンではなく、特殊な機械が入っていますから。現在、様々な業者さんに見てもらって、どんな方法で組んでいったら良いかとすでに動いております。

<保護者>

虹の子の名称は変わるのですか？

場所が変わるといのは、初めて聞いてびっくりしたのですが同じ敷地内でしょうか？開所時間はどうなりますか？送迎についてや休業日は(どうなるのでしょうか)？そういうものが変わる可能性はあるのですか。

いま、虹の子は、延長がなくで利用しづらいところがあるのですが、そういったところはどうなるのでしょうか。

<佑啓会 理事長>

いま行っているサービスは続けたいと思います。

4月からは、休業日はなくなります。現在、ふる里学舎本体、五井、アネッサの3箇所放課後デイをやっていて、うまく組み合わせて動いています。

たとえば、夏休みは、狭いところで過ごすより、この本体でのびのび過ごすほうが良いので、マイクロバスでこちらまで来て過ごしたりしています。この本体では、ミカン狩りをしたり、体育館で遊んだりいろいろな使い方ができます。

延長も考えています。一つ問題は、虹の子の送迎はドアツードアですが、こちらは、拠点で動いています。ですから、その辺は今後、親御さんたちの意見を聞きながら、エリアがありますので落とし込んでいこうと思います。

<保護者>

学校への送迎は変わりませんか？

<佑啓会 理事長>

こちらもやっていますので、迎えはできますが、帰りの問題です。成人でマイクロバス8台が動いています。それプラス児童でも送迎していますので、そこにうまくのせられないかなと計画しています。

<保護者>

いま、木更津には全く送迎がないので、迎えは毎回虹の子まで行っています。うまくあわせられれば、木更津駅までのバスに乗せてもらえる可能性があるということでしょうか。

<佑啓会 理事長>

そうです。何名いるかということにもよるので、即答はできませんが。拠点拠点ならなんとかするのではないかなという見通しということです。

<保護者>

是非お願いします。

<佑啓会 理事長>

児童は現在、百目木まで送っています。成人は木更津まで送っています。うまく組み合わせられるかどうかによります。あと、ご存じでしょうか。大きくなったら木更津でもお預かりします。

<保護者>

かずさ支援システムでアンケートをとりまして、その結果について、今日こちらで説明する、参加できない方には郵送しますよと聞いているのですが、アンケートの結果についての説明はあるのでしょうか。

<佑啓会 理事長>

郵送は我々からはできません。基本的に文書でのやりとりは誤解を招くのであまりしません。もう少し話が聞きたいということだったので、どうせならこちらに来ていただいて、うちの雰囲気味わってもらえれば安心していただけるのではないかとということで、今日設定しました。ですから、今日お話ししたことをまとめて会員さんに配っていただくことは構わないのですが。

その中で是非聞きたいということがあれば。前回の説明会でお話ししているとおりののですが。

<保護者>

アンケートの中で要望はあったのでしょうか？

<佑啓会 理事長>

ありましたよ。正式に文書で会長さん名でこちらに届いていますので。

<保護者>

今日、参加できなかった方には郵送はしないということですか？

<佑啓会 理事長>

また、要望があれば、何度もこのような説明会を行いますので。是非、今日来ていただいた方が説明していただければ、そんなに不安にならないのではないかと思いますのですが。

<保護者>

こういう機会を設けていただいて（よかったと思います）。情報も皆無で、自分からも求めようとしませんでした。施設を訪問してみようかとも思いましたが、ハードルが高くどうして良いかも判らなかつた時に案内があつて、是非参加しようと思いました。他の方もそういう方が多いのではないのでしょうか。もっと参加人数が増えないのかといつも思つて参加しています。それが本音です。

<佑啓会 理事長>

個別に見学したい、話を聞きたい、という方は直接お電話いただければ対応します。突然来所されても人員が割けませんので困りますが、事前にご連絡いただければ、個別のご相談に乗れますのでどうぞ。これについて、他の方にも是非お伝えください。さらに、説明会を開いてほしいということであれば何度でも行います。一番不安に思っているのは、親御さんたちだと思っています。我々の仕事は安心していただくということだと思いますので。

これまで親御さんの要望に応じて事業を進めてきました。昨年、親御さんから最後の要望だと、墓を作ってくれないかと言われました。体育館ができたので、最後は墓だということで、寺が造成した墓の一角の購入を検討しています。身寄りの無い方も多いので、そこを今後整備していきたいと考えています。

<保護者>

今のお話で、最後の一步手前で寝たきりになったときにはどうなるのでしょうか。ここにはいられないと思いますが。

<佑啓会 理事長>

静風荘があります。そのための身体障害者施設なのです。静風荘には、看護師が7名配置されています。年間平均5名くらいの方が病院に移られます。

<保護者>

提携している病院は、この近所にあるのでしょうか？

入院するときには、地元へ返されるということはあるですか。

<佑啓会 理事長>

私の持論は兄弟の方に負担はかけたくないと。親代わりを兄弟にさせることはしないということです。ですから、ほとんどがこの近くの病院です。

<保護者>

地元の方が良いからと戻されたら困ります。

<佑啓会 理事長>

それはないです。ただ、そのときに相談できる方は、きちんと決めておいていただかないと困ります。身寄りのない方は、後見人をきちんとつけておいてください。そうでない方は、何かの時には兄弟の方が相談に乗っていただきたいと思います。あとは、こちらで対応します。

<佑啓会 地域生活支援センター長>

それでは、今回はここで終了とさせていただきます。

不安に思うことは人それぞれ違うと思います。こういった説明会も要望があれば開催するということと、不安なことや心配なことがあれば、お電話いただければ、時間をとって不安解消に努めていきます。本日参加されていない方にも、お伝えください。できれば、この雰囲気を見ていただいて、安心していただければと思っています。

<佑啓会理事長>

これから皆さんとは長いおつきあいになると思います。特に子どもさんとは長いつきあいをしていくことになりますので、ざっくばらんに話し合いながらすすめていきたいと思っています。何かあれば直接面談して話し合えば理解し合えますので宜しくお願いしたいと思っています。

今日はどうも有難うございました。